

第 1 回会議で出た「主な意見・要望等」とそれに対する町の対応（考え方）

No.	主な意見・要望等内容	町の対応（考え方）
1	各個別計画と総合計画をどう関連づけてまちづくりを進めようとしているのかが分からない。（実施計画だけを見てもよく分からない。）	総合計画では、H24 年度から施策の方向ごとに目標指標を設定して進行管理を行っておりますが、ご指摘のとおり、実施計画事業（事務事業）が施策の推進にどの程度貢献しているのかが分かりにくいなど、いくつかの課題がありますので、改善策の検討を行います。 【資料番号 1「後期基本計画における今後の施策等の展開について」の 6 ページ以降を参照】
2	大きなマクロ的な目標を掲げてそれがどう達成したのかについて、総合計画審議会として把握していきたい。（事業全てをチェックするのではきりが無い。）	町では現在、施策の方向ごとに目標指標を設定して進行管理を行っており、その状況は別添の「後期基本計画進行管理シート」のとおりとなっております。 一方、実施計画事業（事務事業）が施策の推進にどの程度貢献しているのかが分かりにくいなど、いくつかの課題がありますので、改善策の検討を行います。 【資料番号 1「後期基本計画における今後の施策等の展開について」の 6 ページ以降を参照】
3	平成 24 年度事業の実績やそれに向けた今後の方向性等を示して欲しい。	町では現在、施策の方向ごとに目標指標を設定して進行管理を行っており、その状況は別添の「後期基本計画進行管理シート」のとおりとなっております。 今後の方向性等については、以下のとおり該当ページをご参照ください。 【資料番号 1「後期基本計画における今後の施策等の展開について」の 1～6 ページを参照】
4	前年度の結果に基づいた翌年度の方向性は、4 月～6 月の間には示すべきである。	現在の制度設計の考え方では、N-1 年度事業の評価については N-1 年度の決算確定後（例年 N 年度の 9 月末頃）に実施したうえで、N+1 年度事業へ反映させると

		<p>いうものですが、町民ニーズ等によりスピーディーに対応することや、当初予算編成に係る概算要求（例年 7 月頃に実施）をより実効性のあるものとするため、事務事業評価時期を N 年度当初に変更するなどの改善を行います。</p> <p>【資料番号 1「後期基本計画における今後の施策等の展開について」の 7 ページ以降を参照】</p>
5	<p>実施計画上で位置づけのなかった事業が突然追加されたり、位置づけのある事業にもかかわらず予算措置がされていないものがある。総合計画をどのように捉えているのか。</p> <p>また、総合計画審議会の位置づけをどのように考えているのか。</p>	<p>実施計画については、計画期間を 3 年間と定め、その後の法改正や社会情勢の変化を含め、町民ニーズに迅速に対応するため必要に応じて事業の追加・統廃合・廃止等を行っておりますが、その際には、本来意図していた総合計画上の目的がおろそかにならないよう留意しながら進めます。</p> <p>また、総合計画審議会については、条例上、「町長の諮問に応じて調査審議し、その結果を報告し、又は建議する」と規定されており、執行機関である長の附属機関として重要な役割を担っていただいていると認識しております。今後につきましても、現在改善策を検討している年間スケジュールのもと、引き続き重要な審議等をお願いする予定であります。</p> <p>【資料番号 1「後期基本計画における今後の施策等の展開について」の 8~9 ページを参照】</p>
6	<p>当初の計画から変わるの仕方がないと思うが、結果報告ではなく、事前に提案して欲しかった。前年度の実績についても議論する場が欲しい。</p>	<p>現在の制度設計の考え方では、N-1 年度事業の評価については N-1 年度の決算確定後（例年 N 年度の 9 月末頃）に実施したうえで、N+1 年度事業へ反映させるというものであり、その反映結果については N+1 年度に開催される総合計画審議会での事後報告という流れで進めてまいりましたが、複雑多様化する町民ニーズによ</p>

		<p>りの確に対応するため、総合計画審議会の開催時期の見直しを行います。</p> <p>【資料番号1「後期基本計画における今後の施策等の展開について」の8~9ページを参照】</p>
7	<p>総合計画は総合計画審議会に諮られて決められたものであり、町の最上位計画であるので、町長が誰に代わろうがバイブルとなるものである。ところが、その時々状況でどうとでもなるというのでは、総合計画や総合計画審議会のあり方をどのように考えればいいのか。</p>	<p>No.5 をご参照願います。</p>
8	<p>位置づけのなかった事業が急に盛り込まれて、もともと位置づけられていた事業がカットされてしまうのでは、実施計画の位置づけがおろそかになってしまう。それで総合計画の達成につながるのかを危惧している。</p>	<p>No.5 をご参照願います。</p>
9	<p>できれば4月頃に会議を開催して、前年度の結果やその総括をポイントでもいいから提示すべきである。</p>	<p>No.6 をご参照願います。</p>
10	<p>町の財政状況や総合計画の財政計画について次回の会議で詳しく説明して欲しい。お金がないのに、あれもこれも行って、町民は貧乏に耐えろというのでは成り立たない。</p>	<p>総合計画を着実に推進していくためには、計画期間中の財政収支を明らかにし、実効性ある計画にする必要があるため、計画期間中の財政収支を、社会経済環境変化や税・財政制度の改正などの不確定要素はありますが、現行制度を基本として、過去の歳入実績を推計するとともに、実施計画に係る事業収支を積み上げ、財政計画を策定いたしました。</p> <p>なお、財政計画の策定にあたっては、基本計画の方向性に沿って各担当から要求のあった事業費を「総事業費」として捉えましたが、計画期間における歳入総額を超えたことから、「事業の優先度判定基準」に基づき全ての事業毎に事業内容を精査</p>

		<p>し、法的な義務的費用のほか、重点プロジェクトへの予算重点配分をはじめ事業優先度を測りながら、各事業において最低限の予算保証額として「基礎事業費」を設定し、財政計画として積み上げを行い策定いたしました。</p> <p>【第2回会議の場においても、その概要をご説明いたします。】</p>
--	--	--